

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		筑西幹線道路整備事業						予算事業名		筑西幹線道路整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法、道路構造令、結城市道の構造の技術的基準等を定める条例				
			08	02	03	2004	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業				
	2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)												
	①道路ネットワークの形成							担当課係等	土木課 改良係				
1広域的な道路ネットワークの形成													
事業期間		継続(平成24年度～平成31年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
沿線住民の幹線道路として利用され、安全安心な交通が保たれる。 また、都市圏間の移動時間が短縮され、人や物の交流が円滑になる。								当路線は、県の広域道路整備基本計画に位置付けされた県西地域の骨格となる幹線道路で、県事業により推進するものであるが、厳しい財政状況と早期完成を図るため、沿線自治体が一部区間の事業者となり整備を行うもの					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
平成24年度 用地測量 平成25年度 用地買収・物件移転補償 平成26年度 道路改良(盛土)工事・物件移転補償(電柱移設) 平成27年度 道路改良(盛土、側道整備)工事 平成28年度 道路改良(路床入替、排水構造物)工事・路床CBR調査委託 平成29年度 道路改良(排水構造物、下層路盤)工事 ※県との協議により下層路盤まで本市で施工し、その後、県に移管する予定。								沿線住民と道路利用者					
								【事業をとりまく環境の変化】					
								古河市の日野自動車の本格稼働を控え、スムーズな物流の確保とともに関連企業誘致のためにも早期開通が望まれている。					
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
道路改良(排水構造物、下層路盤)工事 ※工事終了後、県に移管予定													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率		目標	100.00	0.00	100.00
	事業費ベース		実績	101.81	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	県の計画により位置付けされた事業のため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に則り、設計施工するため妥当である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	概ね計画どおり進められているが、未供用であるため、成果についてはどちらも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	平成29年度に事業完了の予定であったが、県との協議により、下層路盤まで本市で施工することになったため、進捗についてはどちらも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
平成29年度をもって事業費ベースにおいて、事業完了の見込みであったが、県との協議により、下層路盤まで本市で施工することになった。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
平成30年度に県との協議で、下層路盤まで本市が施工することになり、平成31年度をもって事業完了させ、県に移管していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 平成31年度の事業完了で進める。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。